

様式 2

学 校 評 議 員 会 議 録

開催日時	平成 2 9 年 2 月 2 2 日（水） 1 0 時 0 0 分 ～ 1 1 時 3 0 分		
会 場	北海道八雲養護学校 校長室		
出席者数	学校評議員 4 名		学校側 4 名
出席者名	北海道八雲養護学校後援会会長 大久保 建 一 国立病院機構八雲病院理学療法室長 三 浦 利 彦 八雲町役場住民生活課補佐 森 美智子 北海道八雲養護学校同窓生 石 前 翔 平	校 長 鎌 田 典 子 教 頭 二 上 顕 億 教 諭 塩 本 岳 彦 教 諭 松 島 希	
校長が意見を求めた事項		学 校 評 議 員 の 意 見	
①今年度の学習活動の成果について		・在宅での就労や進学等、特に高等部においては卒業後の生活を見据え病院とも連携して生徒の指導を進めてほしい。 ・様々な学習活動が行われているが、教育としてそれを通してどのような力を育てるのかを意識してほしい。 ・児童生徒について卒業時にどのような力を身につけるのかが客観的に評価できるよう、具体的な目標を設定して進めてほしい。 ・生徒の作品や活動を学校としてしっかり発信し、将来それらを生かして社会とのつながりが持てるよう進めてほしい。 ・就労体験学習で作成したものを店等に置いてもらうだけでなく、次につながるようPRなどをしっかりしてほしい。	
②学校評価の結果と改善について		・組織についての課題が継続して出ているが、改善できるよう取り組んでほしい。 ・児童生徒の読書活動の評価が低いが、改善できるよう取り組んでほしい。 ・児童生徒はもちろん教職員のためにも専門性を発揮できるような教育方針を設定し取り組んでほしい。 ・在学中に進学か就職かなどを見定めた上で、それらが達成できるよう指導に取り組んでほしい。また卒業後に困らないよう目標を持って取り組めるようにしてほしい。	
上記のとおり会議を開催した。			
平成 2 9 年 2 月 2 4 日			
北海道八雲養護学校長 鎌 田 典 子 ㊞			

※ 別の書式により意見聴取の内容を整理している場合は、それを添付し保管すること。

※ 配付資料等を添付し保管すること。